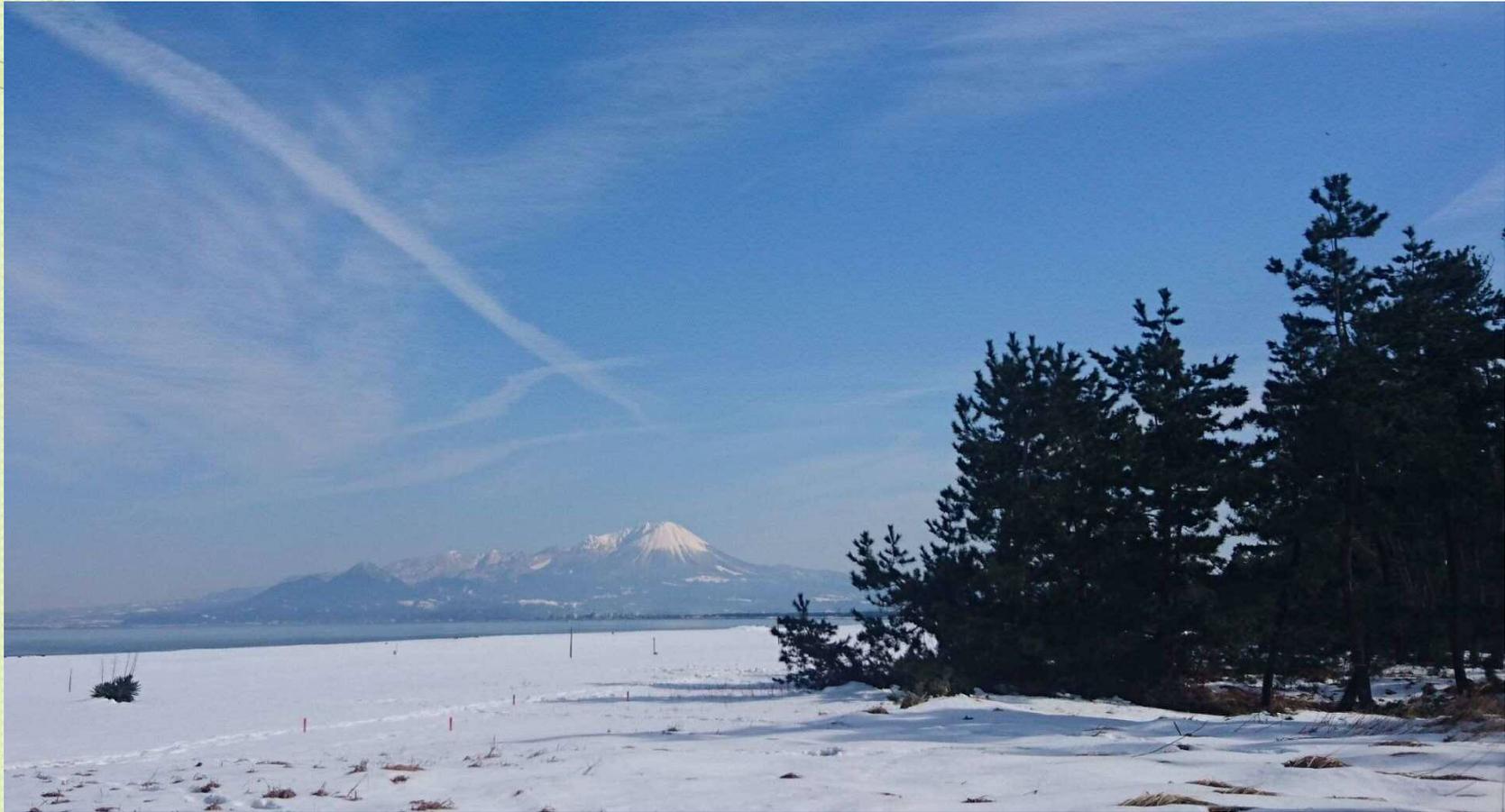


平成31年2月25日

# 弓ヶ浜・白砂青松そだて隊活動報告会



鳥取県西部総合事務所

# 活動団体が40団体を越えています！

平成24年度：30団体（構成員2,181人）

平成25年度：32団体（構成員2,230人）

平成26年度：36団体（構成員2,335人）

平成27年度：37団体（構成員2,338人）

平成28年度：37団体（構成員2,338人）

平成29年度：41団体（構成員2,447人）

平成30年度：41団体（構成員2,447人）

平成31年度：〇〇団体（構成員？人）



# 平成30年度活動実績

平成31年2月20日現在

区分	活動者	活動回数 (延べ)	活動人数 (延べ)
ボランティア活動	そだて隊	85回	2,632人
ボランティア・プラス活動	そだて隊 ＋ 外部の者	5回	238人
合計		90回	2,870人

## ○ボランティア活動

そだて隊が弓ヶ浜松林で行う保全活動

## ○ボランティア・プラス活動

そだて隊が外部の方に呼びかけて協働で行う保全活動や交流活動

# 活動内容

## 除草

延べ78回 延べ2,402人が参加

除草作業は重労働

苗木の間は手作業で丁寧に



# 活動内容

## 清掃

79回 2,426人が参加

国道沿いなので景観維持は大切！



ゴミを拾って美しい松林に！



# 活動内容



## 植栽 もとの松林に復活を！！

延べ16回実施、延べ524人が参加。  
3,580本を植栽。

そだて隊の植栽本数は6年間で  
23,570本になりました。



# 活動内容

## 樹幹注入

松林を松枯れから守る！！

5団体 95人が活動

1, 178本の松に樹幹注入を行いました。

意外と簡単♪

松くい虫被害から予防しよう！



# そだて隊のPRを行っています

今年も花と緑のフェアに出展しました！！



# パネル1枚目

## 弓ヶ浜マツ林の歴史～豪雪被害からの復活を目指して～



弓ヶ浜半島の海岸沿いに全長約7kmに及ぶマツ林が広がっている。この弓ヶ浜マツ林は、地域の先人が昭和20年代から防風や飛砂防止を目的に大変な苦勞をして植林を行い、以降70年間守り育ててこられたものです。

生活や産業を潮風から守り、地域の生活を支えるものであり、これまで住民が一斉清掃を行うなど大切にされてきました。平成20年には地元自治会による保全活動団体も発足し、本格的なマツ林の保全活動が行われていました。



地元自治会の保全活動

## 100年に1度の豪雪で大きな被害・・・弓ヶ浜マツ林の復活を目指して



雪害前

雪害前

雪害後

雪害後

しかし、大切に守り続けてきたマツ林が、平成22年末～平成23年始にかけての豪雪では6,000本以上のマツが折れ傷つくなど、甚大な被害を受けてしまいました。

傷ついたマツ林を見た市民からの提案により、平成23年に「白砂青松復活ボランティア」として枝の片付けや植樹などの活動を呼びかけたところ、県内外から延べ約800人も参加をいただき、マツ林復活への熱い想いをあらためて実感しました。



枝の片付け作業



植樹活動

ボランティアの皆様によって、折れた松の片付けや植樹などが行われ、弓ヶ浜松林は復活へのスタート地点に立つことができました。

# パネル2枚目

## ～復活から育成へ～ アダプトプログラムがスタート

平成23年の「白砂青松復活ボランティア」をきっかけにして、平成24年、弓ヶ浜マツ林を保全する新たな取組が始まりました。弓ヶ浜マツ林を参加団体が愛情をもって主体的に育てていただく活動として「弓ヶ浜・白砂青松アダプトプログラム」がスタートしました。

「アダプト」とは「養子にする」という意味です。「弓ヶ浜・白砂青松アダプトプログラム」では、参加団体を「弓ヶ浜・白砂青松そだて隊」と命名し、弓ヶ浜マツ林の親となって育てていただいています。



弓ヶ浜・白砂青松そだて隊の結団式(平成24年4月25日)



自治体・企業・学校・各種ボランティア団体などバラエティー豊かな団体がそだて隊として活動しています。



マツ林の中にこんな看板が立っているんだよ。探してみてネ。

そだて隊は、草刈り・ゴミ拾い・マツ苗の植樹・マツクイムシ被害の予防対策などの活動を継続して行っています。

どれも大変な作業ですが、幼いマツ苗の健やかな成長を願って、また弓ヶ浜マツ林の景観を保つためにそだて隊が活躍しています！！



結成1年目の活動風景

# パネル3枚目

## ～現在のそだて隊 41団体の紹介～

大雪の被害から7年、参加団体も年々増加して「弓ヶ浜・白砂青松アダプトプログラム」の取り組みは広がりを見せています！！ 弓ヶ浜の美しい白砂青松を次の世代に引き継いでゆくために、そだて隊は日々守り育てる活動を続けています！！

- 現在のそだて隊一覧(全41団体)  
(平成30年9月 担当区画順)
- 航空自衛隊美保基地 基地幹部会・准曹会
- 境港ロータリークラブ
- (株)寺子屋ウエーブ
- 境港ライオンズクラブ
- ダイナム鳥取境港店
- 境港市職員労働組合
- 中部林産株式会社
- 鳥取県信用保証協会
- 富山神通ライオンズクラブ
- 米子中央ライオンズクラブ
- 米子城山ライオンズクラブ
- カネックス株式会社グループお掃除隊
- 株式会社 平田組
- 有限会社 海老田金属
- 米子ガスグループ
- 大篠津地区自治連合会
- 株式会社 丸合
- 山陰酸素グループ(扶賛会)
- 鳥取県西部森林組合
- 和田町マツ守り隊
- 野村證券株式会社 米子支店
- JA鳥取西部
- 社団法人 鳥取県造園建設業協会 西部支部
- 有限会社 米子造園
- 日南町森林組合/(株)オロチ/自然再生技術協会
- 鳥取銀行
- 富益地区
- 米子信用金庫
- 美保テクノス株式会社・美勇会
- 米子市役所
- 国立米子工業高等専門学校
- 日野川水系漁業協同組合
- 大山ブナを育成する会
- ホスピタウン
- おーゆーランド / おーゆーホテル  
皆生観光株式会社
- 米子ケヤキ通り振興会
- 新日本海新聞社
- 夜見地区松守り隊
- 丸京製菓株式会社
- 米子鉄工センター青年部
- 米子ライオンズクラブ
- まき割りクラブ
- 陸上自衛隊米子駐屯地 修観会及び曹友会
- 有限会社 大成商事



# 秋田県由利本荘市石脇財産区視察

平成30年10月3日（水）

由利本荘市から総勢12名で来訪  
米子市和田公民館会議室にて座学の後、  
移動して和田町マツ守り隊の区画(12・13・14)を視察



# 専修大学商学部調査（7月～9月）

## 共同研究プロジェクト

「海岸林の管理活動への企業参入に向けた研究  
—共通社会資本としての海岸林の評価と海岸林管理の  
協働管理体制の構築に向けた基礎情報の整理—」

3ヶ年プロジェクトの最終年に弓ヶ浜を対象に！

（1年目佐賀県虹の松原、2年目山形県庄内海岸砂防林）

内容：現地視察・ヒアリング調査・アンケート調査（団体向けと参加者向け）

結果は？→講演をお楽しみに

専修大学商学部マーケティング学科4年生の卒業研究として

「扁形樹でゾーニングした鳥取県弓ヶ浜の海岸林保全管理の提案」

9月にアダプト区画内で松の形状や傾きを調査



弓ヶ浜松林の復興を目指して、  
皆様と一緒に頑張っていきます  
！！

御清聴有り難うございました。